

越前鬼瓦

穏やかな毎日を見守る鬼瓦の厳しい表情に、いつしか心も引き締まる。

独特の銀鼠色^{ぎんねずみいろ}で重量感がある『越前鬼瓦』の発祥は、江戸時代中期頃。当時より睨みをきかせたその表情が魔よけとされ、寺院や家の屋根に見受けられました。最近では、小さな装飾鬼瓦を玄関や入口等に飾り、魔よけの意味も含めたインテリアとして使用する人も増えてきました。また、大きな鬼瓦はエクステリアとして庭に置き、その存在を示します。厳しさに加え、頼り甲斐も感じられる鬼瓦。外出前に一顧するだけでも不思議と心が落ち着き、何かしら守られている感覚になるかもしれません。

また、現存する最古の鬼瓦作りの流派・立川流を継承するのが、北川鬼瓦です。細工の全工程を腕一本で作る上げる全国でも珍しい本格派鬼師工房として、江戸時代から続いています。そして四代目以降、鬼瓦以外の制作にも取り組んでいます。「四代目はアイデアが豊富で、様々なモチーフを考えるのが得意でした」と五代目 北川富江氏。そのセンスと技は今に継承され、天女や七福神、龍など斬新な鬼瓦や、独特な雰囲気置物となり販売されています。平成27年には、富江氏が伝統的工芸優秀継承者（知事賞）を受賞しました。



ここがポイント

瓦の本分を充分に生かして。

瓦は本来、雨や風や雪から家を守るもので、そこに魔よけの鬼瓦を取り付け、いろいろな面で住宅を守る意味があります。越前の土を使い、高温で焼かれた丈夫な「越前鬼瓦」は、永く家族と住宅を見守り続けます。

製造者 / 福井県瓦工業協同組合
住 所 / 福井市文京6-7-3
T E L / 0776-22-3912 F A X / 0776-22-6463
<http://www.f-kawara.jp/>

平成9年3月31日指定



ここがポイント

すべてが一点物。手作りの鬼瓦や置物を。

「すべて手作りなので同じものは一つもなく、要望通りに作ることも可能。だからこそ継承したい」と六代目、北川順一氏。順一氏は幼少時より粘土をおもちゃ代わりに親しみ、自然と鬼板師の道へ。難しい作業ながら、自由な発想を持ちつつ創作活動を続けています。数年前より通販を開始。越前鬼瓦の魅力を全国に発信中です。(写真下:北川富江作)

製造者 / 北川鬼瓦
住 所 / 越前市池ノ上町8-5-1
T E L / 0778-23-5744 F A X / 0778-23-5744
<http://kitagawaichimon.com/>

平成27年10月7日指定

